

ひまわりプロジェクト 2016

子どもひまわり大使派遣に向けて

■事前学習を経て八月に訪問

一昨年より始まった子どもひまわり大使の派遣は本年も予定されており、派遣に向けた準備が進められている。ひまわり大使は、福島の人々が栽培協力団体を訪問し、交流を深めながら感謝を伝える役割を担っており、特に福島の子どもたちで編成されたひまわり大使を、「子どもひまわり大使」と呼んでいる。また、昨年引き続き、子どもひまわり大使には感謝を伝えるという役割に加え、福島の今を福島県外の人々へ伝えるという役割を担っている。

震災を経験した福島の人々が、これまで何を感じ、何を考え、そしてどのような努力を経て今を生きているのかを伝えるのだ。そのため子どもたちが現地を訪問する前には、事前学習会を通して、福島の

人々の生の声を聞き、自分たちが感じたこと、考えたことをまとめ、発表する。震災から五年も経つと、当時の記憶があまりないという子どもも少なくない。受入先の方々はもちろん、発表する子どもたち自身も、福島のことや、福島の人々について知るきっかけとなるのではないだろうか。

今年、子どもひまわり大使の交流が三年目となる岡山県笠岡市の笠岡市ひまわりプロジェクトとの交流に加え、京都府の協力者との交流も行うこととなった。八月四日から八月一〇日まで京都へ、同じく八月四日から八月七日まで笠岡へ滞在する予定で、今回は二組の同時派遣となる。

■京都への訪問

初めてとなる京都府への派遣については、六泊七日の行程を予定しており、ひまわりプロジェクトのひまわりが栽培されている畑の見学などが予定されている。海や山の自然が豊かな与謝野町や京丹后市では、地元の方々と交流をしながら川遊び、海水浴などを予定している。自然体験を通して、海と山の関係など、自然の循環について学ぶ場となりそうだ。また、地元のみかん農家を訪れ、由良みかん摘果作業を体験する。栽培方法を農家の方にお聞きしながら、農業を通じた地域づくりについて学ぶ予定である。そして京都市では古都京都

を歩き、西本願寺の境内を見学するなどして伝統文化や歴史に触れる。京都の行程に参加する子どもたちは小・中学生のみなので、様々な人々との交流や体験が彼らに大きな成長をもたらすのではないだろうか。

■笠岡への訪問

三年目の派遣となる岡山県笠岡市では、大使派遣初年度より交流が続いており、去年一昨年に続けて交流する人々も多い。今年も本土だけでなく、笠岡諸島のうち北木島と飛島に訪問する予定である。五日には飛島にて、龍谷高校生や、福島から移住した方々と共に、海水浴をしたり、飛島の皆さんの手料理や大島おやじの会の皆さんのバーベキューをいただいたりという計画をしている。またその日は龍谷高校生も一緒に北木島の公営宿舎へ宿泊する予定で、夜はうみほたるの観察や花火大会を行う予定である。翌六日には本土へ戻り、龍谷高校を訪問し、笠岡名物「笠岡ラーメン」の手作り体験や、太鼓部の皆さんとの交流を行う。最終日は、笠岡市で毎年夏に開催される「ひまわりフェスティバル」に参加し、福島の子どもひまわり大使たちが笠岡の皆さんへ感謝を伝える予定である。

先日、笠岡市から、次のような栽培報告が寄せられた。

笠岡がいの栽培報告

私たちの町、大島では毎年八月のお盆に納涼祭（盆踊り）のようなもの（という一大イベント）があり、震災以降、毎年納涼祭に会場となる大島中学校の裏畑にひまわりの花を咲かせて、地区の人に見ていただいています。三年前からシャロームさんのひまわりを植えています。今年ももちろん納涼祭に満開になるようにと六月十二日（日）に



▲ 種植えの様子。笠岡のみなさん、ありがとうございます！



今年は主に大島おやじの会のメンバーで種植えを行いました。（中略）地域の人も福島から来ている種の趣旨も「存じで、「いつまでも見たいます」というひまわりの花言葉を重ね合わせて満開になるひまわりを楽しみにしてくれています。

昨年、一昨年と、大島中学生とは福島の子どもたちが交流を行い、彼らの通う中学校の裏庭でひまわりが栽培されている。地域の方々が一つになって、毎年のように希望のひまわりが咲くのを楽しみにしていたりしていることや、咲かせるために大変なご苦労をいただいていることは、非常にありがたいことであると改めて感じている。この感謝の気持ちを、更に、現地の皆さんが応援して下さいたい。福島の人々を代表して子どもひまわり大使たちに伝えてもらいたいと思う。

（Y・K）



《栽培報告送付・お問い合わせ先》

NPO法人シャローム
「ひまわりプロジェクト」実行委員会
〒960-8035 福島県福島市本町 5-31
(まちなか夢工房内)
TEL : 024-524-2230 FAX : 024-525-8285
Mail : yukari.k@nposhalom.net (担当川島)